

校訓
◇元気な子
◇考える子
◇働く子
◇思いやりのある子

ゆいのき



旭丘小学校
学校だより
1月号

旭丘小 TEL (0561) 54-3066 HP <http://www.owariasahi.jp/asahigaoka-e>

あけまして おめでとう ございます

昨年中は、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。令和5年も変わらぬお力添えをいただきますよう、よろしく願い申し上げます。

校長 水野 夏子

さて、あいさつは大事だという人はたくさんいますが、なぜ、あいさつは大事なのでしょう。年の初めにあって、改めて考えたり調べたりしてみました。

あいさつをすることのメリットは「お互いの信頼関係を確認できる」「コミュニケーションを取りやすい雰囲気作りができる」などと言われています。普段、何かを意図してあいさつをしているわけではありませんが、あいさつを交わすことで、その後の活動が円滑に進むことは想像できます。

「おはようございます」「行ってきます」「ありがとう」「ごめんなさい」「いただきます」「お願いします」「おかえりなさい」など、これらのあいさつをコミュニケーションのツールとして活用することで、自分で自分の周りの環境を友好的なものにしていくことができるのです。

反対に、あいさつをしないことのデメリットは「会話をするきっかけ作りが難しい人」「コミュニケーションが取りにくい人」「礼儀を知らない人・教養の無い人」などと思われがちになると考えられます。これでは良好な関係作りは難しくなりそうです。改めて、あいさつをしない人の心理をいくつか集めてみました（他にもあったら教えてください）。当てはまるものはないかチェックしてみてください。今の自分の状態を知るきっかけにもなります。

- ① 周囲の人との関係が不安（私ってどう思われているのだろう）
- ② 過去にいやな経験がある（無視された、笑われた）
- ③ はずかしい
- ④ あいさつの大切さを理解していない
- ⑤ めんどくさい
- ⑥ 自分の世界に没頭したい（考えごとをしているから、話しかけないで）
- ⑦ あいさつする必要が無い（相手を自分より下にみている）
- ⑧ 相手がきらい
- ⑨ イライラしている
- ⑩ 相手のあいさつが聞こえていない



朝、正門から登校してくる子の中に、すばらしく気持ちのよいあいさつのできる子がいます。相手の目を見て、はっきり言ったあいさつは、相手の心にまっすぐに届きます。心に届くあいさつのできる子は、あいさつ名人です。こうしたあいさつができていているということは、満たされた人間関係の中で成長し、生活できている証かもしれません。学校や職場だけでなく、ご家庭や地域でもあいさつ名人を目指し、自分で自分の周りの環境をよくしていきましょう。今年目標にすることもお勧めです。令和5年は、気持ちのよいあいさつからスタートしてみたいはいかがでしょうか。